

## 製品をお選びの際には

- 生地の種類（素材・厚さ・密度）や用途に合ったホックを選んでください。
- 生地の種類や取付け位置によっては、補強（パッキンなど）が必要となります。
- 化学的な処理（難燃）やシワ防止加工を施した生地は、ホック表面に変色などのダメージを与えることがあります。
- ホック取付後、高温プレスやブリーチ加工を施す場合、ホック表面に変化が無いか事前にご確認ください。
- 本革・ダウン生地を使用する場合は、ホック表面のめっき層を保護するため、焼き付けクリヤー塗装したものを標準としてご使用ください。
- 腐食による変色・不具合の発生を未然に防ぐため、生地・製品試験を事前に実施してください。

## スナップの表面加工について

通常、焼き付けクリヤー塗装は化学残留物によるダメージを最小限にします。

しかし、下記の条件下でのご使用はホックの腐食・時期割れ・変色・不具合などが発生する危険性がありますので、特にご注意ください。

- 革製品や人工・合成皮革製品の加工上の残留物による影響がある場合。（例；なめし、染色、特殊な接着剤、その他使用される薬品類）
- 生地の表地、芯地、裏地などに加工薬品類（漂白剤、染色添加剤、硬化剤、高温プレス、難燃作用剤、シワ防止加工など）が残留している場合。
- ホルマリン、アンモニア、タンニン酸及びクローム酸などの加工薬品が生地に残留し、且つ高温多湿のスチームプレス使用後直ちに密封して長時間保管される場合。

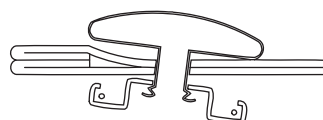
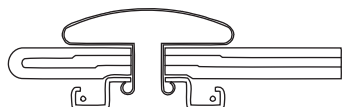
生地サンプルに合ったホックを提案いたしますので、営業担当者にご相談ください。

## 取り付け位置について

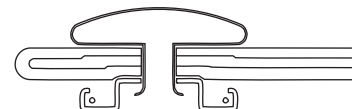
- 生地厚の均等なところに取り付けてください。生地厚の異なるところ（段差）へは取り付けないでください。生地や芯を折り返した部分への取付けもご注意ください。
- ステッチ部分への取付けは、ステッチを切断することがあり、ほつれの原因となりますので避けてください。

## 打付ける際の注意事項

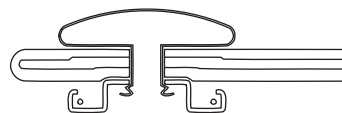
- ホックの種類や使用される打機に合った打駒をご使用ください。
- 打駒が摩耗・破損しているとホックが正しく取り付けられません。
- 打駒は上下のセンターを合わせ、打機にしっかりと固定してください。作業前・作業中・作業後にゆるみがないか確認してください。
- ホックを取り付ける前に必ず空打ちを行い、打機・打駒の調子を確認してください。
- 生地の厚みに合わせて打機のストローク調整を行ってください。
- 打付け後、指でホックが廻らないか確認してください。



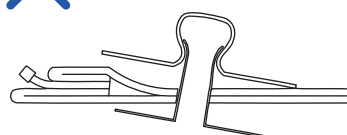
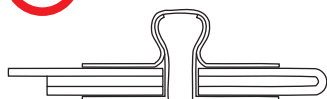
正しくない取り付け位置



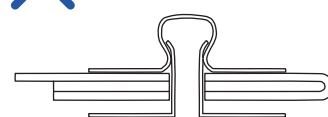
カシメ不足です  
もっと力を入れて打ちましょう



座屈しています  
打駒を正しい物に変更しましょう



正しくない取り付け位置



カシメ不足です  
もっと力を入れて打ちましょう